

# 『ほんまにグルグル歩いてる!』 5歳児 4月 伏見こども園

## エピソード

登園してきた子ども達が保育室のドアの横にあるテントウムシを見つけました。「テントウムシって何食べるん?」「スマホで調べたらいいやん」などと話していたので、保育者が「虫の本に載ってるんじゃない?」と言うと、虫の図鑑を持って来て「テントウムシ載ってた」「アブラムシ食べるんやって」「リンゴも食べるって書いてる」と、図鑑を見てわかったことを友達に伝えていました。テントウムシは透明の容器に入れ、しばらく観察してみることにしました。

図鑑とテントウムシを見ていたAさんとBちゃんが、図鑑に『テントウムシをコップの縁に乗せるとグルグル歩く』と書いてあるのを見つけました。「本当かな?」「やってみよう」と試してみることにしました。Aさんが保育室にあるプラスチックのコップを持って来て、コップの縁にテントウムシをそーっと載せてみると、テントウムシがコップの縁をグルグル歩き始めました。AさんとBちゃんが「ほんまにグルグル歩いてる!」と喜んでいて、それを見ていたCくんが「すごいな!みんな見て!テントウムシが歩いてる!」と他の友達にも知らせていました。Cくんが「これでもいけるのかな?」とペットボトルのキャップを持って来てテントウムシを載せてみると、テントウムシはキャップの中に落ちてしまいました。Bちゃんが「滑っちゃったんかな?」Aくんは「何でやろ?」と言っていると、Cくんがもう一度テントウムシをキャップの縁に乗せてみました。テントウムシは今度はキャップの側面を歩き出し、3人は「えー!何で?!」と不思議そうに笑い合っていました。

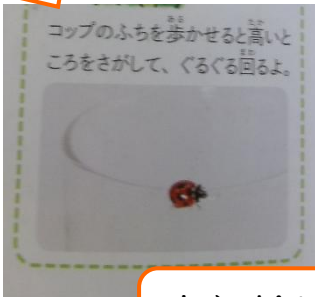
## 子どもの育ちや学び

本当にコップの縁を歩くのかな?やってみよう(試す)(確かめる)

グルグル歩いた!(喜び)

ペットボトルのキャップならどうだろう?(試す)

落ちちゃった。何でだろう?滑ったのかな?(疑問)(予想)



すごいよ!みんな見て!(みんなに知らせたい)

今度は横を歩いた!何で?!(不思議)

- ・テントウムシが何を食べるのか図鑑で見て、エサ以外の事柄(コップの縁を歩く)にも興味が広がり、試してみる。
- ・「すごい」と感じたことをみんなに知らせ、共有したいという気持ちをもつ。
- ・図鑑に書いてあることを試して確かめるだけではなく、ペットボトルキャップならどうだろう、と新たに考えたことを試してみる。
- ・キャップの縁を歩かなかったことを不思議に感じたり理由を考えたりする。

## 保育者の思い

- ・「何を食べるんだろう?」と疑問に感じたり、知りたいと思ったりしたことに、保育者が答えを言うのではなく、自分達で調べる手段を知って活かしてほしいと思い、図鑑があることだけ知らせるようにしました。
- ・図鑑に載っていた『テントウムシはコップの縁を歩く』ということを図鑑の知識として知るだけでなく、試して確かめてみることで、生き物の不思議さや面白さをより感じることに繋がっているのかな、と思いました。
- ・コップやキャップなどすぐに試せるものが近くにあったことで、図鑑に載っていることだけでなく「ペットボトルのキャップならどうだろう?」と新たな考えや疑問をもってすぐ試してみようとするのができたのかなと思います。

## 家庭だったら

知りたいことをすぐに知れるスマホなどの検索もとても便利ですが、図鑑のように知りたいこと以外も目に入ることで興味が広がることもあります。疑問→(調べる・知る)→試す・確かめることを一緒に楽しんでいきたいですね。